

# 奥会津だより



夕顔畑は緑の海  
一本の夕顔を二人で持つ黄昏に  
静かに満たされた一日を振り返る  
おてんとうさま また 明日

写真：田沼隆之

# 金山町西谷青年団旅行と活動

三島町立三島小学校 六年 中丸 みちる

ばあちゃんの若い頃は、村に若い人が何人か居て、旅行したりして楽しんだそうです。その頃は今とちがって、自家用車(自動車)なんてなかった時代でした。建設業の所にある位でした。柳津に行くにも汽車を利用して行くしかなかったみたいです。昭和何年だか書いてなくてわからないのが残念ですが、花見に四月二十九日に行ったのに、雪に降られて、寒くて楽しむどころか、びつくりして、次の汽車で帰ってきたのが今でも心に残っているそうです。



ボランティアで神社の地蔵様、観音様などの掃除や自分達でできる事をしていただけの事です。集合時間になると神社の後ろで、「宮掃除だからハヤッコ」と何回か呼ぶと友達が集まって来てたので、今でも「ハヤッコ」のふし回しがい出せると言っています。

神社の階段は、六十もあるけど、かけ足で登った事が、思い出に残っているそうです。

実家に泊まりに行くと、必ず神社にお参りに行き、何らかの花が咲いている時期だと、二、三本頂いて来て押し花にして、福島のお姉さんが八十六才でも自分で運転しているの、お守りとして送ったりしているとの事です。運転席の前に袋に入れて、見守っていると話しているそうです。

「生まれ育った人達を、神社は高い所からいつも見守ってくれているのだ」と、ばあちゃんはお母さんに教えてもらった言葉が一生涯に残ると信じているそうです。

## 取材ノート



祖母：中丸 フジさん

(昭和14年2月13日生76歳)

孫：中丸みちるさん

(平成14年12月28日生12歳)

(三島中1年)

喜んでいただい。

Q..四月二十九日に柳津に行かれたのですか。

フジさん..天皇誕生日に花見に行っただけでも、寒くて寒くて居られたものでね、雪降ってきたんだもの。桜の花咲いていっとこさ、ボサボサ雪が降った。だから、この日は、忘れられない。

Q..ボランティアで神社の清掃。

フジさん..西谷の菅原神社、山の小高いところにあります。早く行った人が「小宮掃除だからハヤッコ」って3回ぐらい言うよ、それぞれが箒か何か手にして集まった。六十段の階段を一段跳びとかして駆け足で登った。フジ蔓があって、男の人は、ターザンみたいなことやって遊んだりしたの。先輩と後輩が助けあって、みな仲が良かったなあ、今は違うよ。

Q..みちるさん、どうですか？

みちるさん..ばあちゃんが、石の階段を競う様に登ったなんて、元気だったんだよ。

Q..今も金山町にいらっしゃるの、何人ですか？

フジさん..ひとり、ふたり、三人かな。

Q..楽しいような集合写真ですね。

フジさん..面白かったのよ。敬老会なんというよ、自分たちで赤飯ふかしてごつつお作って、公民館に招待して「傘踊り」をやったの。毎晩、傘を振りながら練習したもんだから、壊れたりして歌は八木節。お客さんたち、みんな



だなあって思いました。

Q..お母さんの言葉は、実家のある菅原神社に行くと思い出されるのでしょうか？

フジさん..神社に行かなくても、思い出します。「そこで生まれた人たちを見守っていてくれるんだよ。」って.....

※みちるさんの中学校はバレーボール部しかなく、全員がバレーボール部。3年生が引退したので、現在12人。

※柳津町の四月二十九日の降雪を調べると、写真が撮影された年が判明する。

(写真・文責：菅 敬造)

## 不思議な話

栗城ナミ子さん

(昭和12年生まれ・昭和村)

ある雨の降った夜、かかさまが、「実家に行く」と家を出ていったきり、わからなくなりました。実家にも着いてないし、嫁いだ先へも戻ってこない。ムラじゅう大騒ぎになって、鉦を叩いて大きな音たてて、山狩りして探し回ったが見つからなかった。すると何日もたつてから、山ブドウの蔓の上で、干し物を干しているかかさまを見つけた。かかさまはそこがわが家だと思っていたんだ。連れて帰って何日もしないうちに亡くなった。キツネにあちこち引かれて、ものも食わないでいたからだ。キツネは、つかまえた人間が生き続けているうちはあちこち引いて歩くが、いよいよだめになると放す、という。

(採録：渡部 和)

## 奥会津の食材と料理



夏野菜の三五八漬け

塩、麴、蒸し米を3：5：8の割合で混ぜて発酵させた漬物床。寒中に作るとカビが出ないという。キュウリ、ナス、ラディッシュなど、夏野菜を採ってすぐに漬け込み、数時間で食す。出てきた水分はていねいに上澄みを取り、ドレッシングや煮物の調味料として加えると、深い味わいが楽しめる。

## 奥会津の生き物たち

カワセミ



ひすい 翡翠色のもとになった野鳥。主に魚を食べ、奥会津ではソナと呼ぶ。派手な色彩のわりに水辺ではさほど目立たず、チーッというすどい鳴き声で気づくことが多い。大河川より小河川や池沼を好み、冬季には移動する。

(鳥と花の写真・文：新国 勇)

## 暦に添う暮らし

送り火



月遅れの盆には、遠くで暮らす家族も先祖も、ふるさとに帰ってくる。濃密なときを過ごした盆明けの夕刻、先祖との別れを惜しむように、慰めるように、庭先で送り火を焚く。煙に乗って先祖は天に帰るのだという。火を焚く機会の少ない子どもたちにとって、それは大きな仕事だ。

## エゾアジサイ



夏山の登山中、うす暗く湿った林内で出会う。目が覚めるような青色の装飾花が遠くからでも目立つ。しかし、これはがく片が変化したもの。本来の花は中心部に集まる。北海道から本州の日本海側と九州北部に自生する。

## 軒先の風景

写真・文 竹島 善一

盆が終わり、親族の来客は去る。曲り屋の中庭を囲むように、宿泊した客人のシーツが干されている。敷布の多さは客の数を語る。親密な血縁の絆を認め合う盆は、受け入れ側に、もてなしの喜びと、少なからぬ気配りと労苦をもたらす。

(昭和56年8月 南会津町南郷大新田)



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「ハヤッコー」

ヒント：P2. 聞き書きをご参照下さい。

- 正解者の中から抽選で2名様に、柳津町の「桐下駄(男女用いずれか)」をプレゼントいたします。
- 応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。
  - あて先：〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979 奥会津書房 宛
  - 応募締切：2015年8月15日消印有効



※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。 ※クイズの答えは次号88号で発表いたします。

◎86号「ほおける」の答え：「探る時期を過ぎて成長してしまうこと」  
たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

- 毎回写真を楽しみにしています。鳥や花がきれいに写っているのを楽しみにしています。(大阪府 O.Hさん)
- ほのぼのとした聞き書きや奥会津の暮らしぶりが伝わってくる記事に、いつも心癒されています。奥会津で暮らす皆様の土地を愛する気持ちが伝わり、私も自分の住む町を愛さなければと気付かせてくれます。(群馬県 H.Yさん)
- 奥会津だよりを 10年位前から読ませていただいております。表紙が素晴らしい! 子どもの頃を思い出します。(福島市 O.Kさん)
- 地道に地道に、地に足をつけて編集している感じがする。1頁1頁から伝わってくる確かなメッセージがある。いつまでも続けてほしい貴重な冊子である。(埼玉県 S.Gさん)

## 奥会津だより 定期購読者募集中

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。  
問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局  
TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575  
E-mail: webmaster@okuaizu.net



# 奥会津ロックフェスティバル 2015

## OKUAIZU ROCK FESTIVAL 2015

◆8月29日(土)  
12:00 ~ 18:00 (予定)

◆美坂高原特設ステージ  
福島県大沼郡三島町大字大石田字一ノ原

◆奥会津うまいもんフェア同時開催

今年も奥ロックが開催されます!  
今年も暑い夏がやってきます。  
今年は何んなアーティストがやって  
くるのかお楽しみにしてください。

※おひとり500円以上のカンパをお願いします。



## トロッコ列車が走ります!

たまには、ゆる鉄目線で旅しよう!

9月20日(日) ~ 22日(火)  
※会津若松駅~会津川口駅間 (1日1往復)

## 奥会津イベント情報

### 8月~9月

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
8月1日(土) ~ 8月2日(日)	第39回沼沢湖水まつり 第23回真夏の雪まつり	金山町 檜枝岐村	金山町 沼沢湖畔 尾瀬檜枝岐温泉スキー場	金山町役場産業課 ☎0241-54-5327 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月2日(日)	唐倉山 山開き	南郷地域	唐倉山登山口(南会津町木伏地区)	南会津町観光物産協会南郷観光センター ☎0241-64-5811
8月8日(土)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃の舞台	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
8月10日(月)	霊まつり 流灯花火大会	柳津町	道の駅「会津柳津」周辺	柳津観光協会 ☎0241-42-2346
8月18日(火)	鎮守神祭奉納歌舞伎	檜枝岐村	檜枝岐の舞台	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
8月22日(土)	早戸温泉神社まつり	三島町	早戸地区	早戸温泉つるの湯 ☎0241-52-3324
8月29日(土) ~ 8月30日(日)	みなみあいづウルトラ物語(夏) 第6回尾瀬檜枝岐ぶなの森ウォーク	伊南地域 檜枝岐村	針生~南郷~伊南~館岩 檜枝岐村内	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月5日(土)	只見町祭礼行事 南郷豊年まつり 第31回歌舞伎の夕べ	只見町 南郷地域 檜枝岐村	只見町内 南郷グラウンド 檜枝岐の舞台	只見町内 南会津町商工会南郷支所 ☎0241-72-2041 尾瀬檜枝岐温泉観光協会 ☎0241-75-2432
9月5日(土) ~ 9月6日(日)	南会津そばウォーク	館岩地域	たかつえ(スペースシア)	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月6日(日)	只見駅前通りウキウキわいわいフェスタ	只見町	只見町内	只見振興センター ☎0241-82-2141
9月12日(土) ~ 9月13日(日)	古町のまつり	伊南地域	古町	南会津町観光物産協会伊南観光センター ☎0241-64-5711
9月中旬	赤カボチャ大収穫祭	金山町	道の駅「奥会津かねやま」	道の駅奥会津かねやま ☎0241-55-3334
9月19日(土) ~ 20日(日)	裁ちそばキャンペーン	館岩地域	館岩広域案内所(予定)	南会津町観光物産協会館岩観光センター ☎0241-64-5611
9月27日(日)	第41回野尻川マス釣り大会	昭和村	昭和村下平運動広場	昭和村観光協会 ☎0241-57-3100



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、館岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：7月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net ☎webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。